

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。

(イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷

(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷

(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷

(ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換

(ホ)本書のご提示がない場合

(ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)

(ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷

(チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷

3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	CDラジオ			★お買い上げ日：	年	月	日
型番	RCR-220N-S RCR-220N-P RCR-220N-A	品番	03-7231 03-7232 03-7233	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)			
お客様	ふりがな						
	★お名前						
	★ご住所 〒						
電話 ()							
修理メモ							
販売店	★住所 店名 電話						
印							

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機

〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8

http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは

0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日 9：00～17：00

※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00

※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

CDラジオ

型番 RCR-220N-S

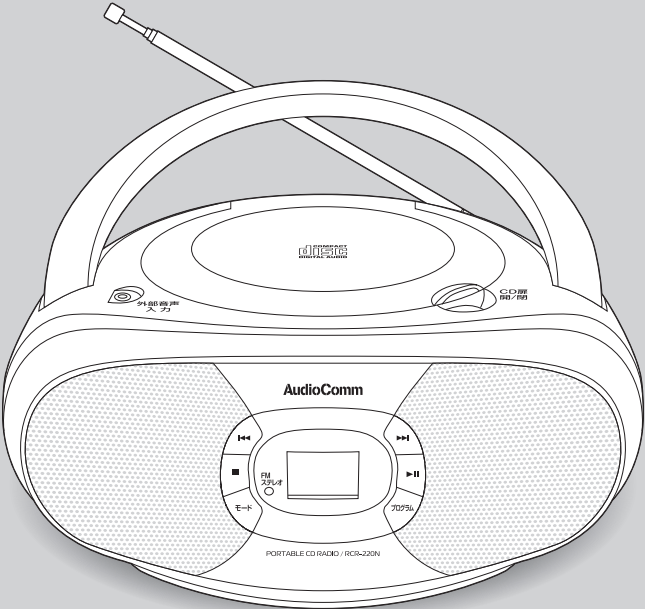
品番 03-7231

RCR-220N-P

03-7232

RCR-220N-A

03-7233



このたびは、AudioComm® CDラジオを

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

免責事項	1	外部機器と接続してスピーカーとして使う	11
安全上のご注意	1～3	ヘッドホンで聴くときは	12
ご使用になる前に（CD について）	4	お手入れのしかた	12
各部の名称	5	故障かなと思ったら	13
電源について	6	主な仕様	14
CD を聴く	7～9	保証書とアフターサービスについて	14
ラジオを聴く	10～11	保証書	裏表紙

免責事項

- 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
 - 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
 - 本製品のために費やした時間及び経費
 - 本製品を運用した結果もたらされた損害
 - 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
 - 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について	
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。	
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。
絵表示の使用例	
	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「感電注意」が描かれています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告			
 コンセントから抜く	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	 禁止	本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない
 コンセントから抜く	万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。	 禁止	本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない ●火災・感電の原因となります。
 接続場所を選ぶ	電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。	 禁止	雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない ●感電のおそれがあります。
 禁止	表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない ●火災・感電の原因となります。	 禁止	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
 禁止	海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	 禁止	本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 禁止	本製品を家庭用電源で使う場合は必ず付属の電源コードを使う。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しない ●付属の電源コードは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。	 電池に注意	電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。
 禁止	狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、本機に新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけて通気口をふさがない ●火災の原因となります。	 禁止	乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
 分解禁止	本機を分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。	 禁止	電源コードを敷物などで覆わない ●気づかずに重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
		 水かけ禁止	浴室、台所など湿気の多い場所や水のかかる場所では使わない ●感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

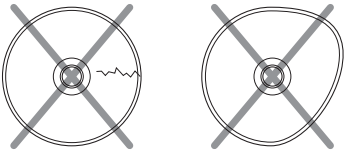
 禁止	調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない ●火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	ほこりの多い場所に置かない ●感電の原因となることがあります。
 禁止	ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止	CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない ●レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。 
 禁止	電源コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	 アンテナを縮める	持ち運ぶときは、アンテナを縮める ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどして、けがの原因となることがあります。
 濡れ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となることがあります。	 コンセントから抜く	移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 音量は小さく	電源を入れる前には、音量を絞る ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。	 指を挟まれないように注意	お子様がCD扉内に手を入れないように注意する ●けがの原因となることがあります。
 乾電池の電極性に注意	乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示どおり正しく入れる ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 コンセントから抜く	長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す ●火災・液もれの原因となることがあります。
 禁止	指定以外の乾電池は使用しない。また、新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使わない ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	 禁止	電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
 コンセントから抜く	お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く。乾電池も取り外す ●感電の原因となることがあります。	 掃除をする	電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
 音量に注意	ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。		

ご使用になる前に(CDについて)

結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク使用上の注意点



◆再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

◆ディスクにのマークが入ったものをご使用ください。

◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。よう願ひ申し上げます。

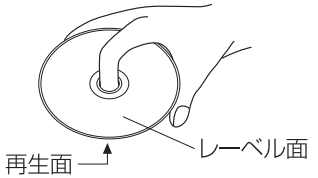


◆本機はCD-R／CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。

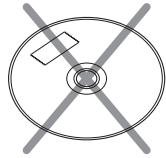
- ・CD-R／CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類・状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
- ・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
- ・本機ではMP3などの形式で圧縮された音楽ファイルの再生はできません。
- ・DRM(著作権保護)付ファイルは再生できません。

ディスク取扱上の注意点

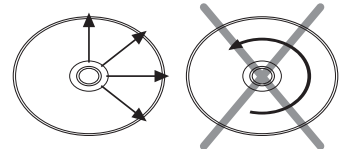
◆再生面に触れないように持ってください。



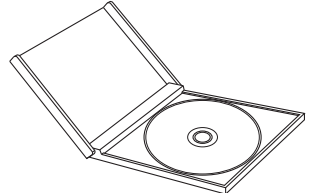
◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



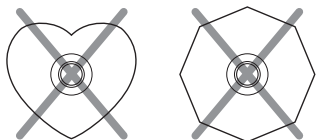
◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



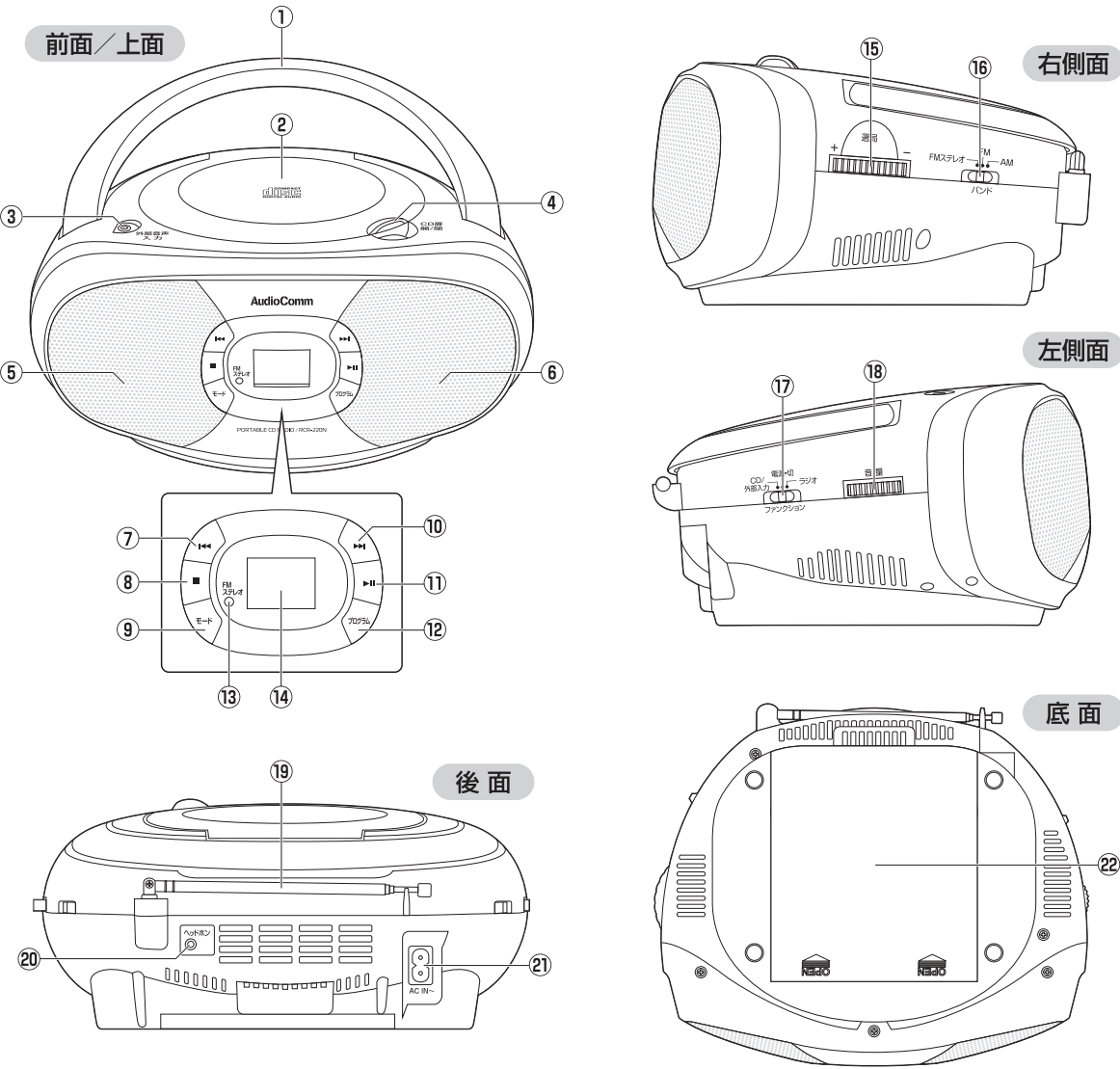
◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



各部の名称



- ①キャリーハンドル

②CD扉

③外部音声入力端子

④CD扉 開／閉部

⑤左スピーカー

⑥右スピーカー

⑦スキップボタン(⏮)

⑧停止ボタン

⑨モードボタン

⑩スキップボタン(⏭)

⑪再生／一時停止ボタン

⑫プログラムボタン

⑬FMステレオランプ

⑭ディスプレイ

⑮選局ダイヤル

⑯バンド切換スイッチ

⑰電源／ファンクション切換スイッチ

⑱音量ダイヤル

⑲FMロッドアンテナ

⑳ヘッドホン端子

㉑AC100V 電源ソケット

㉒電池カバー

電源について



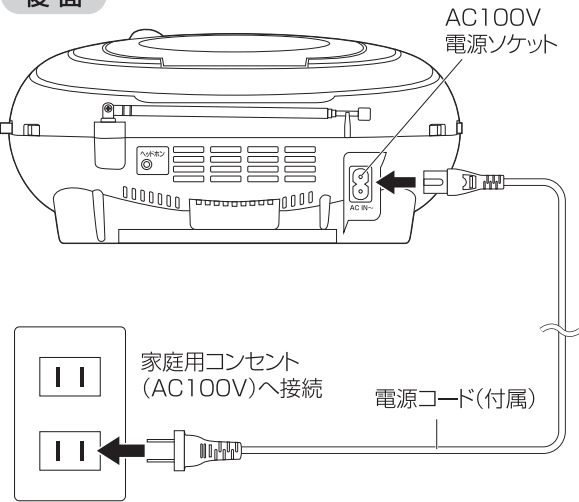
- 電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。
- 電源を入れる前に音量を絞ってください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用電源で使う場合

付属の電源コードで本機のAC100V 電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。

- ◆乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的に家庭用電源に切り換わります。
- ◆本機を使用しないときは電源コードを家庭用コンセントから抜いてください。

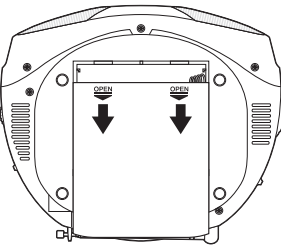
後面



乾電池で使う場合

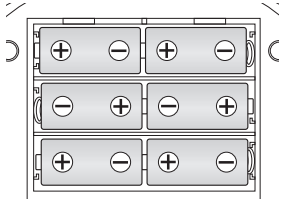
- ◆アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。
- ◆電池カバーを外し、乾電池の⊕と⊖を間違えないように、単2形乾電池6本(別売)を入れます。

※長時間使用するときは、付属の電源コードをお使いください。



底面

- 電池カバーの 部を押しながら、矢印の方向にスライドさせて開けます。



- 乾電池の向きに注意しながら、図のように正しく入れてください。コイルばねのあるほうが⊖です。⊖側から先に入れてください。
- 入れ終わったら電池カバーを元どおりにしっかり閉めます。

※付属の電源コードは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源コードをお使いください。また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

警告

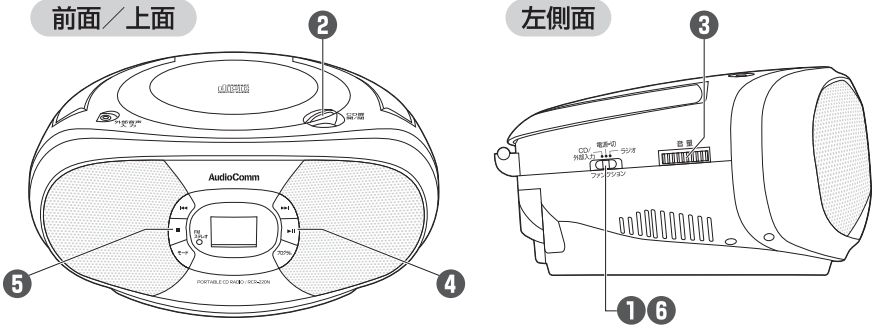
- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

CDを聴く



音量を絞ってから電源を入れてください。

- 1

電源／ファンクション切換スイッチをCD / 外部入力に合わせます。
●ディスプレイが点灯し、ディスクの読み取りが始まります。
●ディスプレイに「- - -」がしばらく点滅し、ディスクが入っていないときは、「no」と表示されます。
- 2

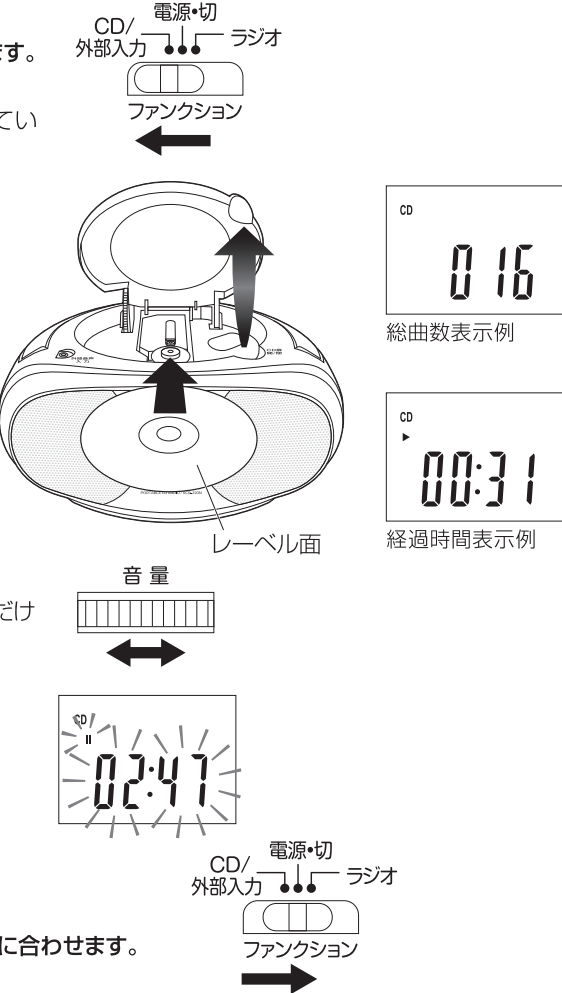
CD扉 開／閉部を持ち上げてCD扉を開けます。
レーベル面(印刷されている面)を上にしてディスクを正しくセットし、手でCD扉 開／閉部を閉めます。
●CD扉を開けるときはキャリーハンドルを倒してください。立てたままでは開閉できません。
●CD扉を開け閉めするときは、ゆっくり丁寧に行ってください。力を入れすぎると、故障するおそれがあります。
●CD扉を閉めるとディスクが回転し、収録されている総曲数が一時的に表示された後、1曲目から再生が始まります。
●再生中は曲番号と経過時間が交互に表示されます。
- 3

音量ダイヤルで音量を調節します。
●音量にご注意ください。大きくしすぎると周囲の迷惑になるだけでなく、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 4

再生を一時停止するときは、再生／一時停止ボタンを押します。
●経過時間表示と一時停止マークが点滅します。
●もう一度押すと再生を再開します。
- 5

再生を停止するときは、停止ボタンを押します。
●ディスプレイは総曲数表示に戻ります。
- 6

終了するときは、電源／ファンクション切換スイッチを電源・切に合わせます。
●ディスプレイが消灯します。



使い終わった後は、必ず本機からディスクを取り出し、ケースに入れて保管してください。また、ほこりや汚れから内部を保護するため、ディスクを取り出した後はCD扉を必ず閉めてください。

スキップボタン(⏮/⏭)について

停止中、再生中、再生中の長押しといったそれぞれの状態によって、機能が異なります。

ボタン	停止中に押す	再生中に押す	再生中に長押しする
	前の曲を選択	曲の最初に戻って再生。2回続けて押すとひとつ前の曲に戻って再生	聴いている曲を早戻しします。指を離れた時点から再生を再開します。
	次の曲を選択	次の曲に移動して再生	聴いている曲を早送りします。指を離れた時点から再生を再開します。

※再生中の長押しでは断片的に再生音が流れ、経過時間が変化しますので、それらを目安にして操作してください。

1曲リピート・全曲リピート・ランダム再生・イントロ再生

1曲リピート

1回押す

モードボタンを1回押すと、
聴いている曲を繰り返し再生します。
●1曲リピート中は「REP」が点滅します。
●停止中に1曲リピートを設定した場合は、再生／一時停止ボタンを押して再生を開始してください。

全曲リピート

2回押す

モードボタンを2回押すと、
ディスク内の全曲を繰り返し再生します。
●全曲リピート中は「REP」ALLが表示されます。
●停止中に全曲リピートを設定した場合は、再生／一時停止ボタンを押して再生を開始してください。

ランダム再生

3回押す

モードボタンを3回押すと、
ディスク内の曲をランダムに再生します。
●ランダム再生を選ぶと「RAN」が表示されます。
●再生中にランダム再生を選んだときは、聴いている曲をそのまま最後まで再生し、次の曲からランダム再生になります(一時停止中にランダム再生を選んだときも同様です)。

イントロ再生

4回押す

モードボタンを4回押すと、
ディスク内の最初の曲から、
各曲の最初の10秒を順に再生します。
●イントロ再生を選ぶと「INTRO」が表示されます。
●再生中に押した場合でも、すぐにイントロ再生が始まります。

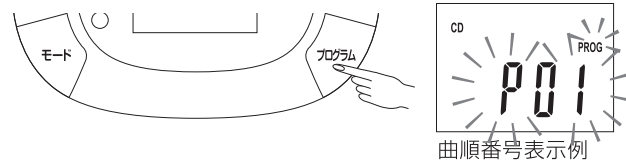
- 各再生モードを解除するには、それぞれの表示が消えるまで、モードボタンを数回押してください。
- 停止ボタンを押したときや、他のファンクションに移行したときも解除されます。

CDを聴く(つづき)

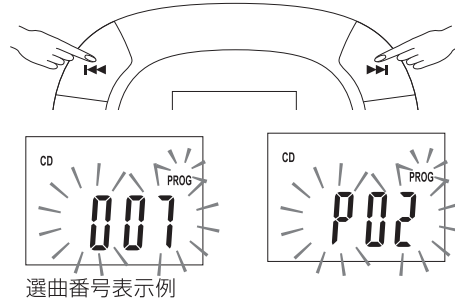
プログラム再生(CDの曲順を並びかえて聴く) 最大20曲まで登録できます。

プログラムは、再生停止中のみ登録できます。

- 1 停止中にプログラムボタンを押します。
●「PROG」と曲順番号「P01」が点滅します。



- 2 スkipボタン(◀◀/▶▶)を押して1曲目に登録したい曲番号を選び、プログラムボタンを押します。
●スキップボタン(◀◀/▶▶)操作中は曲番号が表示されません。
●プログラムボタンを押すと、ディスプレイに次の曲順番号「P02」が表示され、2番目に登録したい曲を選ぶ状態になります。



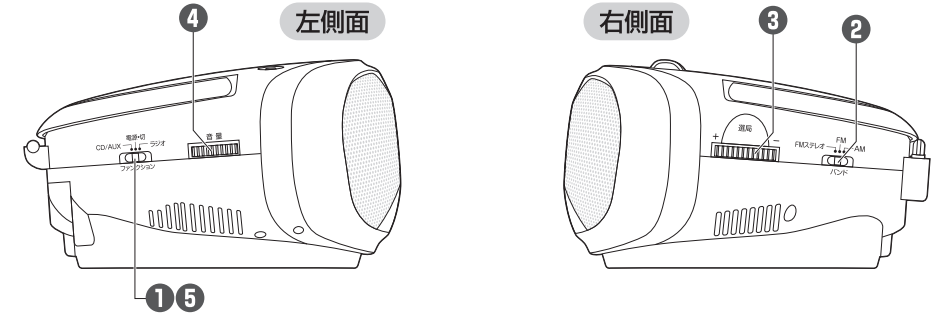
- 3 上記の操作を繰り返して、聴きたい曲を順に登録します。

- 4 再生／一時停止ボタンを押します＝プログラム再生開始
●プログラム再生中は、「PROG」が表示されます。



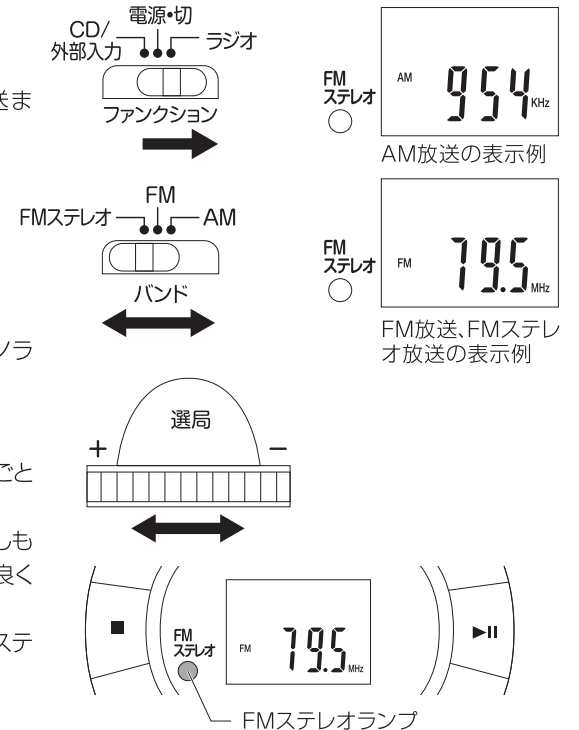
- プログラム登録を中止するときは、停止ボタンを押します。
- プログラム内容を修正したいときは、プログラムボタンを数回押して修正したい曲順番号を表示させた後、スキップボタン(◀◀/▶▶)で曲番号を修正し、プログラムボタンを押します。
- プログラム再生中に停止ボタンを1回押すと、プログラムを保持したまま再生を停止します(「PROG」が表示されたままの状態になります)。この状態で再生／一時停止ボタンを押すと、プログラムの1曲目から再生を始めます。
- プログラムの設定自体を解除するには、停止ボタンを2回続けて押してください(「PROG」が消えます)。CD扉を開けたときや、他のファンクションに移行した場合も解除されます。

ラジオを聴く

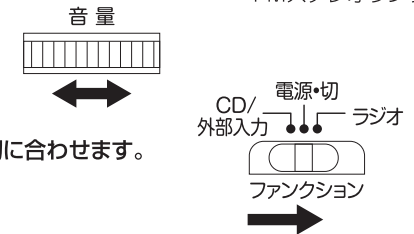


音量を絞ってから電源を入れてください。

- 1 電源／ファンクション切換スイッチをラジオに合わせます。
●ディスプレイが点灯し、「tUNE」と表示された後、AM放送またはFM放送を受信します。
- 2 必要に応じてバンド切換スイッチで、お聴きになりたいバンドを選びます。
●AM: AM放送を受信します(モノラル)。
●FM: FM放送をモノラルで受信します。
●FMステレオ: FM放送をステレオ受信します。
※FMステレオでノイズが多い場合などは、FMに合わせてモノラルにすると、軽減されることがあります。
- 3 選局ダイヤルを回して、お聴きになりたい放送局を受信します。
●ディスプレイに周波数が表示されます。AM放送では9kHzごとに、FM及びFMステレオでは0.1MHzごとに増減します。
●ディスプレイに表示される周波数と実際の受信状況は、必ずしも一致しません。表示される周波数の前後を含めて、もっとも良く聞こえる状態に調節してください。
●バンド切換スイッチでFMステレオを選び、良好な状態でFMステレオ放送を受信すると、FMステレオランプが点灯します。



- 4 音量ダイヤルで音量を調節します。
●音量にご注意ください。大きくしすぎると周囲の迷惑になるだけでなく、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
- 5 終了するときは、電源／ファンクション切換スイッチを電源・切に合わせます。
●ディスプレイが消灯します。



ワイドFM(FM補完放送)について

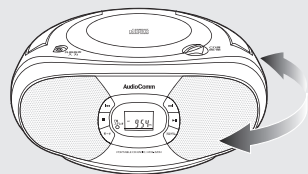
ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

ラジオを聴く(つづき)

受信状態を良くするには

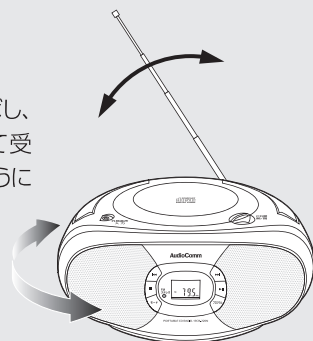
●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際の方が良く受信できます。



●FM放送の受信

FMロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて受信状態が最も良くなるように調節してください。

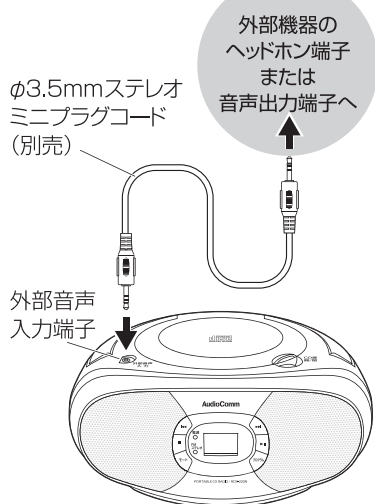


- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。
- 持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。

外部機器と接続してスピーカーとして使う

本機の外部音声入力端子と外部機器をφ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)で接続して、携帯音楽プレーヤーなどの音楽を楽しむことができます。

コードを接続するときや取り外すときは、
双方の機器の電源が切れた状態で行なってください。



外部機器の
ヘッドホン端子
または
音声出力端子へ

φ3.5mmステレオ
ミニプラグコード
(別売)

外部音声
入力端子

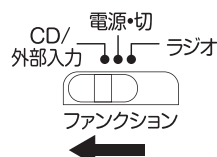
音量を絞ってから電源を入れてください。

1 双方の電源が切れている状態で、
左図を参照し、本機と外部機器を接続します。

2 本機及び外部機器の電源を入れます。

●本機を外部機器のスピーカーとして使うときは、電源／ファンクション切換スイッチをCD／外部入力に合わせてください。電源が入ると、ディスプレイに「AUX」と表示されます。

※外部音声入力端子にφ3.5mmステレオミニプラグを接続して電源を入ると、本機は自動的に外部音声入力モードになります(CDの再生はできません)。



FM
ステレオ



外部音声入力時の
ディスプレイ表示

3 外部機器側で再生などの操作をします。

4 音量を調節します。

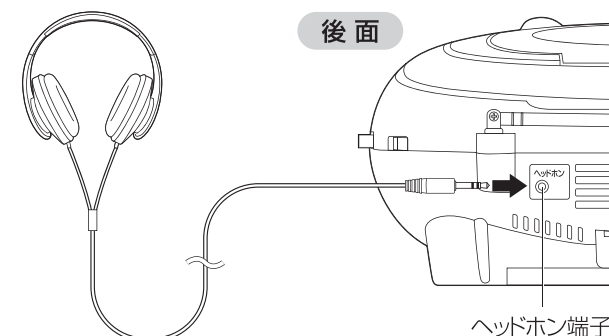
●音量の調節は、本機及び外部機器双方で可能ですが、本機側で音量を上げすぎると、接続を解除して他のファンクションにしたとき、突然大きな音が出る場合がありますので、十分ご注意ください。

5 終了するときは本機の電源／ファンクション切換スイッチを電源・切に合わせ、外部機器の電源も切ります。

●コードを取り外すときは、必ず双方の機器とも電源を切った後に行なってください。

ヘッドホンで聴くときは

- 別売のステレオヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聞こえなくなります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用電源でご使用时、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聞こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてお使いください。



後面

ヘッドホン端子

お手入れのしかた

※お手入れの前には、あらかじめ電源コードや乾電池を外し、誤って電源が入らないようにしてから行なってください。

キャビネットのお手入れ

- キャビネットが汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- 電源プラグにほこりがたまると、発火する危険があります。電源プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質・変色のおそれがあります。



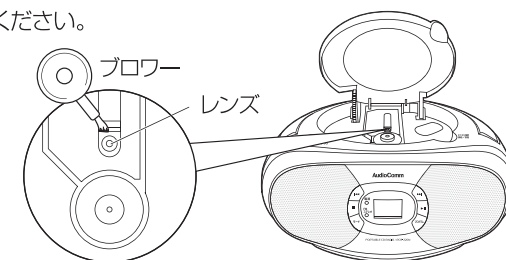
シンナー、ベンジン、
アルコールは
使用しないでください。

CDプレーヤー・レンズ部のお手入れ

レンズの汚れは、音飛びなど正常な再生ができなくなる原因になります。CD扉を開け、下図のようにレンズをクリーニングしてください。

●市販のクリーニングキットのブローアを使って、ほこりやゴミなどをはき出してください。

●指紋などがついていない場合は、市販のレンズクリーナーをお使いください。



ブローア

レンズ

故障かなと思ったら

	症 状	チェック項目
共通	電源が入らない	●電源コードが外れて(ゆるんで)いませんか。 ●乾電池は正しく入っていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。
	音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
C D	CDの再生が始まらない	●CDが裏返しに入っていないですか。 ●CDがひどく汚れていませんか。 ●レンズがひどく汚れていませんか。 ●規格外のディスクが入っていないですか。 ●CD扉がしっかりと閉まっていますか。 ●ファンクション切換スイッチが別の機能になっていませんか。
	CDの音が出ない	●一時停止状態になっていませんか。 ●外部音声入力端子にφ3.5mmステレオミニプラグが接続されていませんか。
	CDの音が飛ぶ	●結露状態になっていませんか。 ●レンズがひどく汚れていませんか。 ●強い振動を与えていませんか。 ●CDに大きなキズやひどい汚れはありませんか。
ラジ オ	ラジオに雑音が入る	●近くで携帯電話を使用していませんか。 ●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
外部 音声 入力	音が出ない	●φ3.5mmステレオミニプラグコードが正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。 ●ファンクション切換スイッチがCD / 外部入力になっていますか。 ●外部機器側で再生などの操作を正しく行いましたか。 ●本機または外部機器の音量が最小になっていませんか。

主な仕様

共通 部	電源	AC100V(50 / 60Hz)
		DC 9V 単2形乾電池×6本(別売)
	消費電力	15W
	実用最大出力	1W×2(r.m.s)
	スピーカー	口径76mm×2(インピーダンス8Ω)
	電池持続時間	ラジオ：約：38時間 CD：約10時間 (スピーカー出力時)
	接続端子	ヘッドホン端子：φ3.5mmステレオミニジャック 外部音声入力端子：φ3.5mmステレオミニジャック
	外形寸法	幅246×高さ119×奥行204mm(突起物含まず)
ラジ オ 部	質量	約1.18kg(乾電池含まず)
	付属品	専用電源コード、保証書付取扱説明書

ラジ オ 部	受信周波数	AM：522～1620kHz(9kHzステップ)
		FM：76～108MHz(0.1MHzステップ) ワイドFM対応
	アンテナ	AM：内蔵フェライトバーアンテナ FM：ロッドアンテナ

C D 部	チャンネル数	2チャンネルステレオ	※電池持続時間は、アルカリ乾電池新品使用、音量中程度の場合の目安です。使用環境などにより異なります。 ※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。 ※本取扱説明書で使用している図版は、実際の機種と一部異なっている場合があります。
	サンプリング周波数	44.1kHz	
	再生可能ディスク	CD、CD-R/RW(ただし、MP3などの圧縮形式ファイルには非対応)	
	S/N比	50dB	

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。